

美深高校70周年 記念インタビュー



今年70周年を迎えた記念の年となりました。美高祭では70周年「思い出の部屋」を開催し昔懐かしい資料等を展示、多くの来場者に楽しんでいただきました。また、9月21日には、美深町開拓120年記念植樹に本校生徒全員で参加し、70周年記念植樹として、仁宇布の会場にトドマツを植樹してきました。

これからはさらに、美深高校や美深町に縁の深い方々に、昔の思い出や美深高校生に期待することなどを、インタビュー形式で伺い皆さんへお知らせしたいと思います。なお、このインタビューについては本校ホームページへも掲載する予定です。

美深高等学校同窓生等インタビューということで、今回は美深町で知らない人はいないであろう現在“美深町長”として町の為にご尽力くださっている「山口信夫町長」にインタビューさせていただきました。山口町長は音威子府村出身であり、美深高校へは車で通学されていました。当時は今のように高校へ進学することが当たり前ではない時代。山口町長ご自身も実家が農家であることから自分は農家を継ぐことになり、高校へは行かないであろうと思っていました。そんな頃、お父様から「どうする？学校へ行くのか？」というお言葉があり美深高校を受験することを決めたそうです。今回のインタビューでお聞きした当時の高校での思い出や今現在のお話など…短い時間でしたが笑いを交えながら楽しい雰囲気で行われたインタビューの様子をお伝えします。

山口町長は現在72歳（昭和39年卒）。先にもお伝えしたとおり、美深町ではなく音威子府村咲来（お蕎麦が有名ですね）のご出身です。

高校卒業後は美深町役場に就職し、総務課、農務課を経て建設係長をお勤めになりました。税務課の各係長などをこなし教育長を2年半お勤めになった後、現在3期目となる美深町長に就任されました。高校を卒業されてから今まで、美深町のために力を尽くしてくださっている山口町長。お仕事で今まで一番苦労されたことは？とお聞きしたところ、就職してすぐ毎年のよ



うに会計検査があったこと…とのこと。なかなかイメージのつかない方もいらっしゃるかもしれませんが、この会計検査がどのようなものか知っている方にとっては考えたくもない…ことだそうです(^_^;)。このように沢山の経験や苦労があったからこそ、今では町を代表する重要な役を担うことができるのだと感じました。

そんな山口町長が我が美深高校に入学したのは昭和36年のこと。当時の美深高校は各学年2クラスずつあったそうです。「勉強はあまり好きじゃなかった（笑）」と語る山口町長でしたが、数学では上級クラス！（当時、数学と英語は初級・上級クラスに分けられていたそう）物理ではテストで高得点を取った時に、担当の先生から「カンニングしただろ！」と疑われたという微笑ましいエピソードも話してくださいました。

所属していた部活動は、山口町長をよくご存じの方ならもちろんご存じでしょう”野球部”でした。今回のインタビューの中でも野球のことが多く話題にあがっていました。残念ながら現在美深高校に野球部はありませんが、当時の美深高校は優秀なチームで名寄地区の代表だったそうです。その野球部を引っ張っていたのが何を隠そう、エースピッチャーの山口町長でした。（こっそり当時の卒業アルバムを拝見&持参していたのですが、その勇姿がしっかりと載っていました！）決勝戦で稚内高校に敗退してしまった時は、悔しくて布団を2～3日被っていたという思い出もあるそうですが、それだけ熱心に取り組んでいらしゃった証だと思います。その気持ちはご本人にしかわからない所もあると思いますが、そんな青春時代のお話をお聞きしてカッコ良さを感じたのでした。優秀な野球少年であった山口町長ですが、今現在も野球に携わっており山口町長にとって野球は切っても切れない存在ということが伝わってきました。野球に熱心に取り組んでいた山口町長ですが、野球でご両親にお金を使わせてしまったという想いもあり、修学旅行には行かなかったとのこと。このようなところにも当時の時代背景を感じました。

今の美深高校の生徒に期待することやアドバイス等を訪ねると「最近の生徒たちは真面目である反面おとなしい。」と山口町長。時代もあるけど、と付け加えておっしゃっていましたが当時は野球を始め、スポーツや勉強の面でも全国で活躍する生徒がいたそうで、今の美深高校の生徒たちにもそのような活躍を期待している気持ちが伝わってきました。現在の美深高校では、トランポリン同好会の生徒が全国大会に出場しており大きな活躍をしています。これからもっと沢山の生徒が様々な場所で活躍してくれることを、山口町長はじめ町民の皆さんから期待されていると再認識したのでした。

次回は、本校より東京大学へ進学、現在東京大学名誉教授の大賀圭治さんです。